

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様の立場に立った支援を理念にあげて実践に繋げています。	会社独自の運営理念が有り、理念の実現に向けてリーダーを中心に職員と一緒に検討し、各ユニットの理念も掲げています。また、毎月の目標も設定し、ユニット会議で定期的に振り返る機会も設ける等、職員全員で理念の実現に向け取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年に入ってコロナ禍で地域との交流はできていないが時期を見て以前のように支援していきたいと思えます。	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、例年であれば保育園の夏祭りに見学に出かけたり、地域の中学生が体験学習に来てくれたりもしています。また、地域の集いに参加したり、地域のボランティアにも来て頂くなどし、地域との交流に努めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所の取り組みを提供する機会を模索しているが、やはりコロナ禍で実践が延期となっている。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催をしていてサービス向上に努めている。2回ほどコロナ禍で開催を見合わせ、書面上での開催となっている。	今年度は新型コロナウイルスの影響で書面での開催もありますが、2ヶ月に1回の運営推進会議では、民生委員、包括支援センター職員、自治会長、ご家族、ご利用者に参加していただき、単なる報告に留まらず具体的な取り組み内容や改善課題を話し合い忌憚のないご意見を頂いてサービス向上に活かせるよう取り組んでいます。また、その場を通して地域の理解と支援を頂けるよう努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	分からない事・確認事項等を通じて協力関係を築いている。	市の担当者には運営上の報告や相談、ご利用者の事例に応じては社会福祉協議会職員、包括支援センター職員も交え協議する機会も設けるなどし、サービスの向上に努めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的にチェックシートを記入し不適切なケアや虐待を行っていないか、ホーム全体で確認をしている。玄関の施錠については行わせて頂くことを、入居説明の際にご家族にはご了承している。	事業所にて身体拘束についての研修を行い周知徹底をしているほか、職員は定期的に身体拘束について振り返りの機会を持つなど、身体拘束をしないケアを実践しています。	
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修を行い、スタッフからの聞き取りなどを行い、不適切なケアが行われていないか確認・指導を行っている。	身体拘束研修と同じく、事業所にて虐待防止についての研修を行い周知徹底しており、職員は定期的に不適切なケアについて振り返りの機会を持ち、虐待の防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を通じて勉強する機会を提供している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時にすべてご説明をしてご同意を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族のご要望はカンファレンスを通じて話し合いをしている。必要に応じて面会時にはお話をする機会を作っている。	面会時及び運営推進会議等でも積極的に意見、不満、苦情を伺うよう心掛け、前向きに運営に反映させていくよう取り組んでいます。日ごろのご利用者とのやりとりで確認された意向はつづやきノートにまとめているほか、年に1度は会社でご家族へのアンケートも行い、意見・要望の確認を行っています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議や個別の面談を通じて意見を聞く機会を設けている。	毎月のユニット会議やリーダー会議を通して定期的に意見や提案を聞く機会を設けています。また、職員との面談や、年に1度は職員へのアンケートも行っているほか、日々の業務を通して現場職員の声に耳を傾け運営に反映させています。	ユニット会議録の書式を統一し、職員がユニット間で異動があった場合でも共通の認識のもとに対応されることを期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各自の目標の設置、今後の働き方を確認する中で本人のやりがいに繋がられるように面談等を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の機会を確保できるように努めています。コロナ禍で出かけることはできなくなっていますが、ほとんどWEBで行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	昨年までは地域の勉強会に参加させて頂いたりしているが、コロナ禍で交流自体がない状態で参加する機会がない。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前審査を通じてお話をする機会を作っている。また入居時もコミュニケーションを積極的に取るように努め、関係作りを行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時に細かくご説明を行い、質問等にもご納得いただけるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームの役割をご説明して、状態の変化に応じたサービスのご説明を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることは積極的にやっていたげうように努めています。ご本人に役割を持っていただくことで、支えあう関係を築いています。		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の要望でご家族から協力頂ける部分は巻き込んでご本人の希望をかなえられるように支援している。	ご家族への毎月のお手紙の送付や事業所広報誌の送付も年4回行われています。ご家族の面会時に、ご本人の様子を伝えたり、以前の生活の様子をお聞きしたりして、ご家族との関係を深めています。ご家族の事情によりなかなか面会に来られない方には、お手紙や電話で必要に応じお話をさせていただき、信頼関係を築けるよう努めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族ごとの行事やご友人の面会を通じて関係性が途切れないように支援している。	ご家族にも協力を得て、ご自宅へ出かけたリ、ご家族に面会に他事業所へ出かけるご利用者もあり、馴染みの関係が継続できるように支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	その方の状態や関係性を考え席を決めて、支えあいながら生活できる環境を提供しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後のご様子をお知らせいただいたり、訪ねて来られるご家族様もいらっしゃいます。また別のご親族の入居の話も頂いたりして関係性を保てるように心掛けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランの作成時や普段のコミュニケーションを取る中でご本人の要望・希望を聞き出し、実現できるように支援している。	ご利用者がどのような思いや希望を持っておられるのか常に伺ってはいますが真意は把握しづらい面も多く、できるだけ日々の暮らしの中での会話を充実させ表情なども考慮した上で、そこから感じられる思いや希望をくみ取る努力をしています。	ご家族に確認した意向については、いつ・どのように意向確認が行われたのかが分かるように記録に残されることを期待します。
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時やケアプラン更新時にご本人のこれまでの生活の様子を把握し、これからのサービスに繋がられることを話し合い提供している。	センター方式を活用し、入居の際にご家族から今までの生活歴や日中の過ごし方をお聞きして情報を把握しています。また半年に1度は見直しの機会を設け、日々の生活の中で得られた情報についても追加して、職員間で情報を共有しています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	居室・共用部その時々に合わせて過ごして頂けるように声掛けを行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	できる限り、ご本人、ご家族にカンファレンスに参加頂き、ご要望をプランに反映している。	居室担当者が毎月モニタリングを実施し、3か月に1度は総括を行い、ご利用者、ご家族からの意向を取り入れ話し合いのもと介護計画を作成しています。	モニタリングの方法が事業所内で統一されていないところがありましたので、今後改善されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員間の情報共有のためや看護師との情報共有でノートを活用しています。その日に居なかった職員にも情報が分かるように工夫をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族とのWEB面会やご家族を巻き込んだ外出支援などを支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事への参加はコロナ禍で中々できなかったが、段ボールの回収や牛乳の容器のリサイクルの協力を行ったりしていた。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に今後の医療支援をご家族と話し合い、ご本人にとって一番いい支援を心掛けています。	現在ホームでの往診を受けている方も多いですが、定期的にご家族の支援のもと受診されているご利用者もいます。ご家族が対応できない時は職員が同行し状況を説明し、ご家族が同行される場合には詳しい状況を手紙にして持参して頂くなどしてかかりつけ医との情報交換及び関係構築に努めています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者の状況を伝え、適切な対応を指導してもらったり、処置をしてもらったり、日頃から連絡体制を構築しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	治療計画をご家族から頂き、経過も定期的に確認しています。退院できる見込みを病院関係者と相談しながら、今後の事をご家族を含めて確認しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人の状態をその都度、事細かくお伝えして最善な対応を心掛けている。必要に応じてご家族との話し合いを行っている。	事業所の重度化した際の対応の指針に基づき、契約時にご家族への説明を行っています。ご利用者の状態に応じては、ご本人及びご家族とかかりつけ医との話し合いを行い対応方針の共有化を図っています。また、時間をかけて段階的に終末期に向かう場合は其々の段階でご本人、ご家族、かかりつけ医及び関係者等で繰り返し話し合い方針を共有化しています。	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応の研修を行いつつ何時起こっても対応できるように訓練をしている。	急変や事故の応急手当に関するマニュアルの確認やホーム内でも定期的に誤嚥や緊急時の対応に関する研修の機会を設け、緊急時に職員が適切な初期対応ができるようになっています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を通じて緊急時の対応を各自が実践している。	消防署の指示のもと定期的に地震による火災や、夜間の火災を想定した避難訓練を行っており、非常用物品も確保されています。また、自治会や近隣住民へも協力をお願いしています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	申し送りは名前を使用しない方法を取り誰の事が分からないようにプライバシーを確保しています。	運営理念にもあるように個人の尊厳を大切に、一人ひとりの能力や人格を把握し、プライバシーを損ねないように言葉遣いや対応に努めています。また、事業所広報の写真の掲載の同意についても、契約時に書面で同意をいただいています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何事も選択する機会を提供するように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本はあるが天気のいい日には屋外の散歩や外出する機会を提供している。ご本人にやりたいことを確認するように心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人が着たい洋服の選択、身だしなみの声掛けをご自分で出来ない場合は支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ユニット調理の際はお手伝いをお願いしたり、配膳のお手伝いや、後片付けを手伝って頂いたりしています。	ご利用者にもできる範囲で調理や後片付けを手伝ってもらったり、回転寿司のテイクアウトの利用もしています。また、ご利用者と一緒に畑で野菜の収穫を行ったり、おはぎ作りを行うなどし、ご利用者に食事を楽しんでいただくよう心がけています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	自立支援ケアを通じて、その方に必要な栄養、運動、水分の摂取を定期的に支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの提供、定期的な歯科往診の支援、口腔管理体制加算に応じた支援を行っています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ介助が必要な方にはその方の排泄パターンの把握を行い、時間ごとに声掛けや付き添いを行っている。	全てのご利用者に排泄チェック表を使用し、個々の排泄パターンを日々把握し、一人ひとりの力や状態、習慣に応じて気持ちよく排泄できるように、その方に合った声掛けや誘導をし支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自立支援ケアを通じて水分量の把握・摂取に努め、同時に運動や栄養の提供も進めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴のご希望を確認する声掛けを行ったり、入浴できない日が続かないように支援しています。拒否が強い方には代替えの提供も行っています。	入浴の曜日や時間帯は個人の希望やタイミングにできるだけ合わせて対応し、できるだけ入浴を楽しんで頂けるように支援しています。	ご利用者が入浴を拒否した際の記録方法について、職員に周知し記録に残されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方ごとに生活のリズムを大切に就寝時間や起床時間の配慮を行っています。また寝具やお部屋の環境も安眠できるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	今の状態とお薬の内容が合っているか？疑問があれば看護師や薬剤師・主治医等に相談をさせていただき適切な対応ができるように努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来ること・やりたいことは積極的にお手伝いして頂ける機会を提供しています。また編み物など以前やっていたこともできるように準備をして、提供しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	ご家族同伴で行けるところはお願いしたり、季節ごとにドライブや、散歩の外出支援を行ったりしているが、本年度はコロナ禍で出かけることを自粛して思うような計画を立てられなかった。	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、例年は天候に合わせて散歩や買い物に出かけたり、ご利用者との日頃のやりとりで意向を確認し、初詣やドライブに出かけたり、季節に合わせてお花見やぶどう狩り、さくらんぼ狩りなどの外出の機会を設けています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	コロナ禍で買い物支援が中々できない中ではありますが、自動販売機で飲み物を買って頂いたりしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	月1回のご家族様へのお便りの中にご本人の近況などのお手紙を書いていただき、一緒に送るなど支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとに飾りを工夫したり、共用部の室温等の調整も行い温度差が無いように気を付けている。 中庭等の整備も行い、目で楽しめる空間作っています。	共用の空間にはソファや和家具が設けてあり、観葉植物などでゆったり休める配慮がなされています。また、ご利用者の作品の掲示や写真の掲示もあり、日々の生活の状況が分かりやすくなっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ユニットや共用部の廊下等に椅子やソファを設置してあり、好きな所で過ごして頂けるように工夫をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	できる限り使い慣れたものを持ってきていただいたり、ご家族の写真等を飾ったりして、ご本人の過ごしやすく、落ち着ける部屋になるよう工夫をしています。	入居時に今までの使い慣れたタンスや時計、装飾品を持ち込まれて、ご本人の希望に応じた配慮がなされており、居心地よく過ごせるように支援しています。模様替えも相談しながら行なっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	掲示物でお知らせしたり、目で確認できるような工夫を行っています。		

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				